



Epreuve vidéo
JAPONAIS

Concours ECRICOME PREPA 2024

Verbatims des vidéos
01 - 03

Mentions légales

Les concours organisés par ECRICOME© sont des marques déposées. Tous les sujets, corrigés et verbatim sont la propriété exclusive d'ECRICOME.

Reproduction interdite en dehors du site internet d'ECRICOME©

Tous droits réservés.

Toutes les vidéos sont sourcées (voir document en ligne) au titre des droits d'auteur. Utilisation à des fins pédagogiques, accord du 4 décembre 2009 conclu entre la PROCIREP et le Ministère de l'Éducation Nationale.

Verbatim

Vidéo 01

SF アニメの世界が現実のものになるかもしれません。夢とロマンが詰まった搭乗型ロボットが日本で誕生しました。

重さ 3.5t、高さ 4.5m、都内のベンチャー企業、ツバメインダストリーが開発した動くロボット、アーカックスです。特徴はなんといっても、機体の上の部分にあるコックピットに人が乗り込んで、自ら操縦するという点。内部には二本の操縦桿があり、これを操作することで、腕や手を自由自在に動かすことができます。また人型のロボットモードから、姿勢を低くした、ビークルモードに変形すると、最大時速 10km で走行することができます。乗り込めば、気分はまさに SF アニメの主人公。開発者はもちろん、生粋のロボットファンです。

SF 映画で見たような、まるで多くの人が夢見たような、巨大ロボットを操縦するという体験を提供できればなあと。産業用機械とか、自動車とか、あとはアニメとか、ゲームとか、日本の強みをギュッと圧縮したようなものを世界に出せればいいなというのがきっかけです。

鉄工所を営んでいた祖父の影響で、幼い頃からものづくりに慣れ親しんできた吉田さん。大学でロボットハンドの技術を学び、在学中に筋肉の電気信号を読み取って動かす医療系の義手を作る会社を立ち上げました。こうした経験を活かし、ロボットでも細かい手の動きを再現。現在、15kg程度のものをつかんで、移動をさせるテストを行なっていて、将来的には建設現場や、災害救助での活用を想定していると言います。

ロマンの追求というところで、将来こういう搭乗型ロボットが、街中で働くっていうのは将来的に実現できるんじゃないかなと考えておまして、それを実現したいなど。

そんな夢とロマンが詰まった搭乗型ロボットは昨日から開幕したジャパンモビリティショーに出展され、次世代の乗り物として注目されています。気になる価格

は 300 万ドル、日本円でおおよそ 4 億 5000 万円。公道を走ることはできませんが、私有地で乗ったり、飾ったりして楽しむイメージだということです。

Verbatim

Vidéo 02

まもなく迎える円安、物価高のお正月。お年玉をもらえるのかどうか、あげるのかどうか、それが問題です。

あげます。

はい、あげます。

諭吉が一人ずつかな。

ある調査によれば、1990年代には、100パーセント近い子供がもらっていたお年玉。最近は減少傾向で、去年は89.7パーセントと、9割を割り込みました。

お年玉はあげてないです。

お父さんの小さい時は、お年玉をもらっていましたか。

はい、もらってました。

もう、ウハウハだよ、わたし。

一冬で10万ぐらい。

子供の時は、すごくもらった。

お年玉で、二日に好きなものを買いに行く。

そうです、昭和の子供達は、お年玉を握りしめ、デパートに。

お年玉、もうすでに今年は、いくらぐらいもらいました。

1万円。

お年玉、いくらもらいました？

3万9千円。

大人は大人で、福袋に殺到。子供を押し潰さんばかりの購買意欲は、懐の暖かさの表れでしょうか。それから34年。

成人してから、まあ打ち切った。
反対にもらいたいぐらい。

毎年、大変です。
年金生活なのに、困っています。
貯金を切り崩して。

そんなお年玉です。あげる方は使い道も気になります。

大学へ行く費用を毎年あげてるはずだよね。

ところがもらう方は。

私の推しのグッズとか買いたい。
イベントの費用とかに使おうかな。

時代の波は、あげ方、もらい方にも。

遠く離れた姪っ子とかには、確かに PayPay で送金とか。
お年玉も下手したら、現金書留。
うち、郵送なんですよね。コロナ禍で、全然行かなくなっちゃったんで。

伝統的なやりとりは、絶滅危惧種かと思いきや。

ポリ袋に入ってるんですよ。あ、ポチ袋。
まあ、対面で会ったほうが嬉しいし。

お年玉には、お金のやり取りよりも大事な何かがあるのかもしれない。

今は、あげるのが楽しみ。それを理由に会えるから。
寂しいっちゃ寂しいよね。
あげてた時は、喜んでもらった時が懐かしいというか。

Verbatim

Vidéo 03

福は内、鬼は外。

明日、2月3日は節分です。節分といえば、やっぱり豆まきですが、最近は福を呼ぶという、恵方巻きを食べるという方もいるのでは。

節分といえば、豆まき、恵方巻き？みなさんはどちらですか。

縁起物ですから、大豆を、袋になったのを、ぽっぽっと各部屋に撒く程度ですけど。

今、流行っているお寿司を買ってきます。恵方巻きとかいう。

恵方巻きを食べたり、豆まきを子供と一緒にするとか、そんな感じですかね。

節分を前に、全国1000人に大規模アンケートが実施されました。

豆まきをする予定の人と、恵方巻きを食べる予定の人。多かったのはどちらでしょう。

明日の節分で豆まきをする予定か、恵方巻きを食べる予定か。全国の1000人にアンケートが実施されました。

まずは、豆まきをする予定と答えたのが、463人。そして、恵方巻きを食べる予定と答えたのが、637人。恵方巻きを食べる予定と答えた人の方が多い結果となりました。

豆まきに比べて、一人で食べられるじゃないですか、恵方巻きって。手軽感はあるのかなあと。

豆まきをする人が少ないわけは？日本の文化を研究している三浦さんに聞きました。

住宅事情が関係しています。マンションなどの集合住宅では、外に豆を撒くのが憚られますし、大声を気にする方もいらっしゃいます。また、まいた豆の掃除をするのが面倒だから、という理由も増えているんですね。

一方、食べる人が多い恵方巻き。そもそも、どんな行事なのでしょう。元々は大阪の一部の人の娯楽だったものが、昭和時代に寿司の販促活動によって、関西に広がって、コンビニやスーパーなどの商品として全国に浸透して、現在に至るんですね。